

江南市市民活動団体
アンケート調査報告書

令和元年 8 月

江南市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 団体の概要について	2
3. 団体の活動について	7
4. 江南市地域まちづくり補助金について	17
5. 行政・他団体との協働について	22

1. 調査の概要

1. 調査の目的

江南市に登録している市民活動団体の活動状況、課題、支援に対するニーズを把握し、今後、市が行う市民活動支援を効果的に進めていくための検討資料として活用することを目的として実施した。

2. 調査時期

令和元年6月5日（水）～7月5日（金）

3. 調査対象

江南市に登録している市民活動団体及び江南市地域まちづくり補助金に申請したことがある団体

4. 調査方法

郵送及びメールによる（配布・回収）アンケート調査

5. 回収状況

送付団体数	169 団体
回答団体数	97 団体
回収率	57.3%

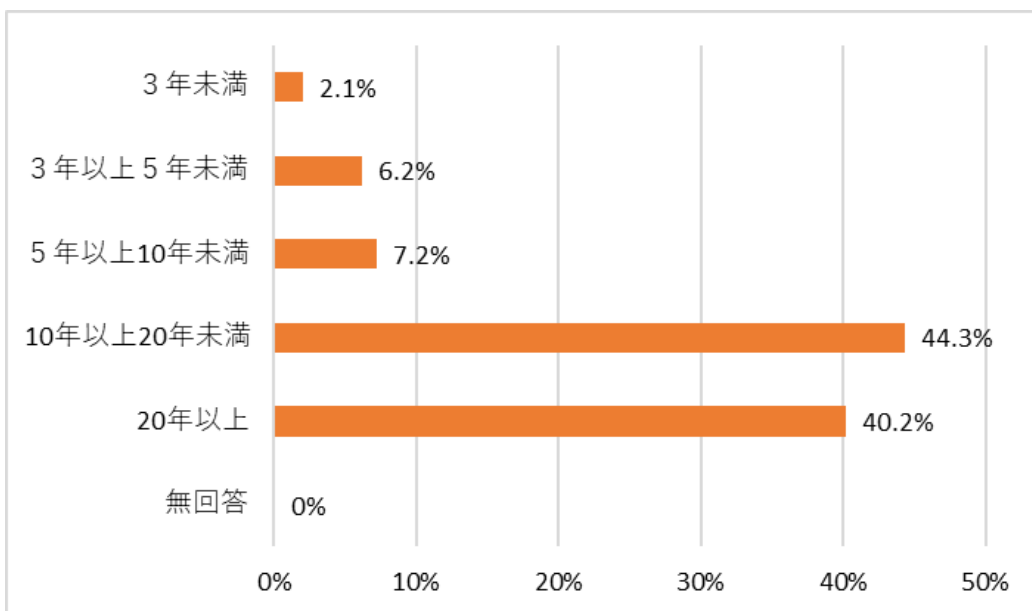
6. 調査結果を見るうえでの注意事項

百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。

2. 団体の概要について

■活動年数を教えてください

内容	回答	割合
3年未満	2	2.1%
3年以上5年未満	6	6.2%
5年以上10年未満	7	7.2%
10年以上20年未満	43	44.3%
20年以上	39	40.2%
無回答	0	0%
全体	97	100.0%

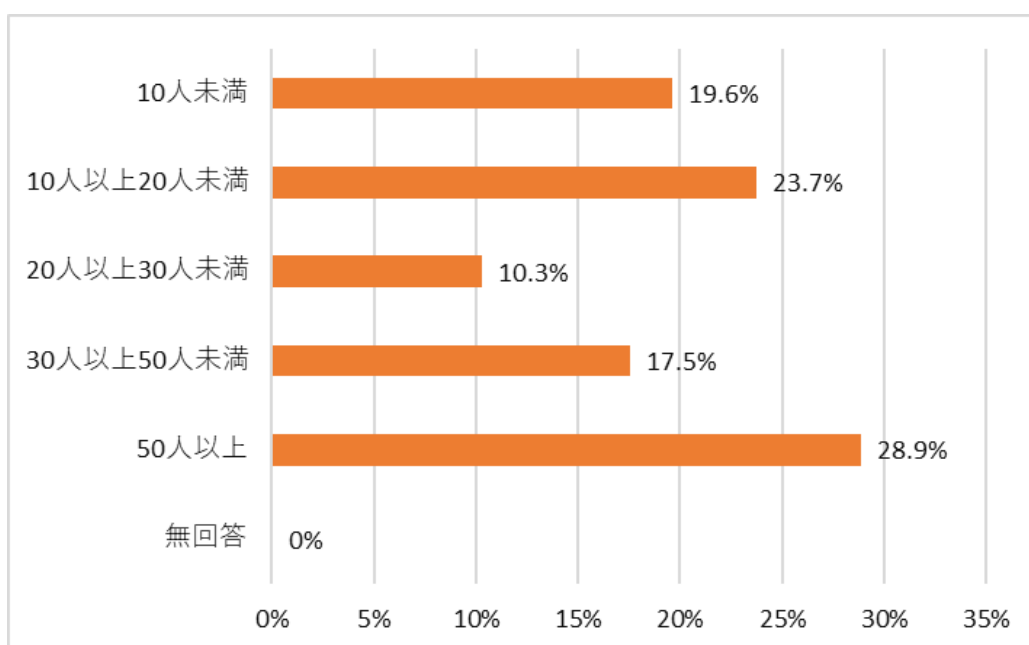


活動年数は、「10年以上20年未満」の団体が44.3%、「20年以上」の団体が40.2%で、「10年以上」活動している団体は84.5%あり、長年にわたり活動をしている団体が多くを占めている。

■会員数を教えてください

※サービスを楽しむ側や、イベントに参加するだけの人は除きます。

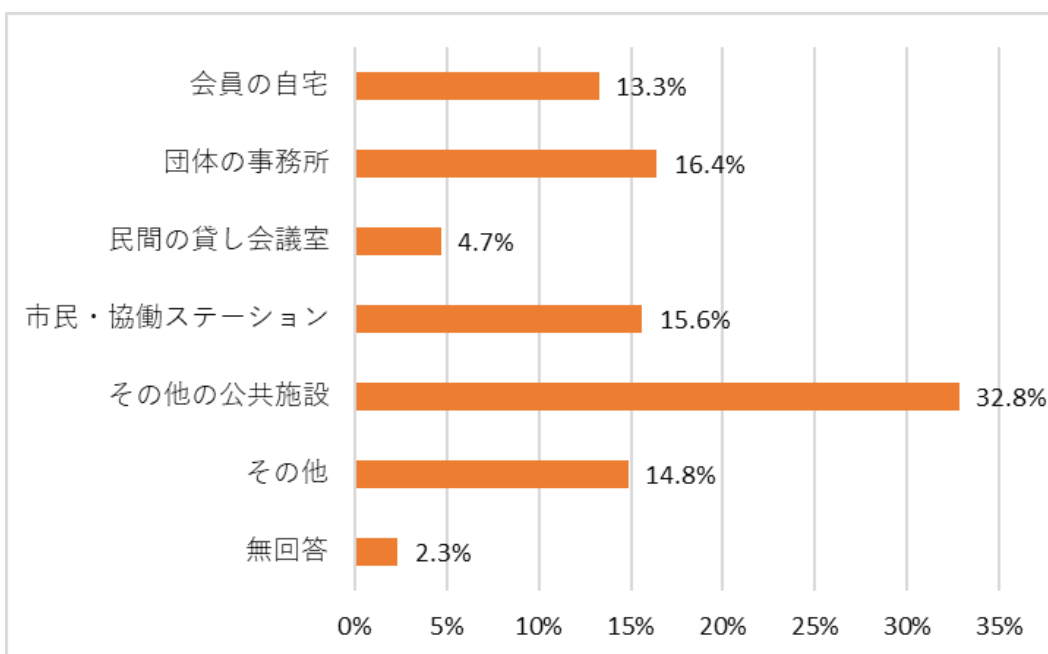
内容	回答	割合
10人未満	19	19.6%
10人以上20人未満	23	23.7%
20人以上30人未満	10	10.3%
30人以上50人未満	17	17.5%
50人以上	28	28.9%
無回答	0	0%
全体	97	100.0%



会員数は、「50人以上」が28.9%と最も多く、次いで「10人以上20人未満」、「10人未満」となった。

■ 打ち合わせや会合などで使用する施設を教えてください
(あてはまるもの全て)

内容	回答	割合
会員の自宅	17	13.3%
団体の事務所	21	16.4%
民間の貸し会議室	6	4.7%
市民・協働ステーション	20	15.6%
その他の公共施設	42	32.8%
その他	19	14.8%
無回答	3	2.3%
全体	128	100.0%



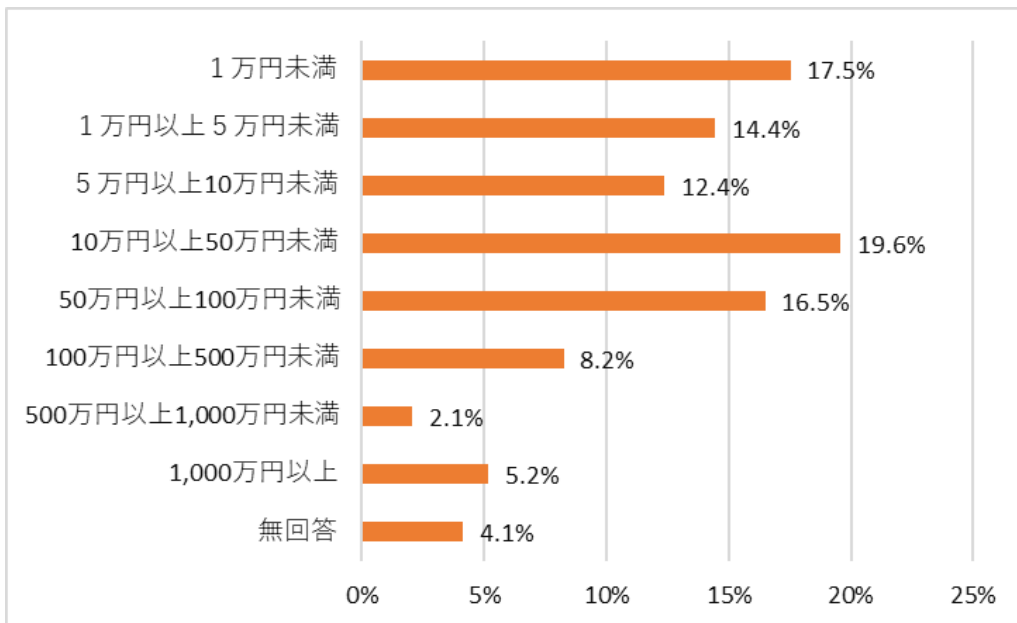
使用する施設は、「その他の公共施設」が 32.8%と最も多く、内訳は、学供が 13 団体、老人福祉センターが 13 団体、布袋ふれあい会館が 4 団体、公民館が 4 団体、他 KTX アリーナ、すいとびあ江南、市民文化会館などがあり、市民・協働ステーションとの合計では 48.4%と公共施設の利用が約半数を占めた。

「その他」は、地区の集会所が 8 団体、喫茶店が 5 団体、他ボランティア先の控室などがあつた。

※「その他の公共施設」、「その他」を回答した中に複数の施設名を挙げている団体がありましたので、回答団体数（97 団体）と一致しません。

■ おおよその年間支出額を教えてください。

内容	回答	割合
1万円未満	17	17.5%
1万円以上5万円未満	14	14.4%
5万円以上10万円未満	12	12.4%
10万円以上50万円未満	19	19.6%
50万円以上100万円未満	16	16.5%
100万円以上500万円未満	8	8.2%
500万円以上1,000万円未満	2	2.1%
1,000万円以上	5	5.2%
無回答	4	4.1%
全体	97	100.0%

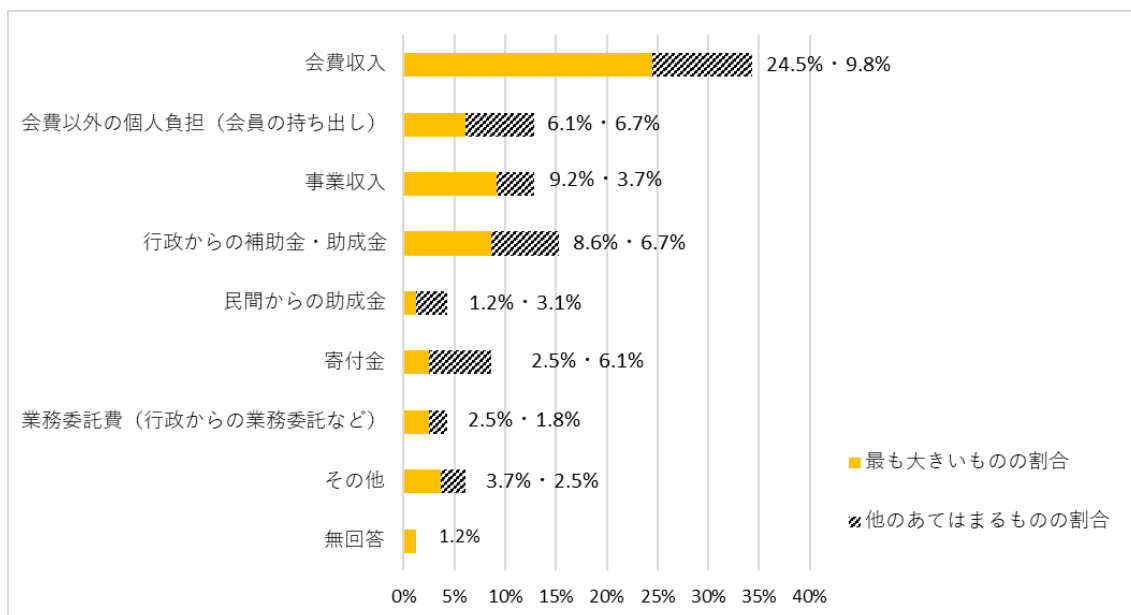


年間支出額は、「10万円以上50万円未満」が19.6%と最も多く、次いで「1万円未満」、「50万円以上100万円未満」となり、年間100万円未満での活動が多くを占めている。

■収入源を教えてください(最も大きいもの1つ、他にあてはまるもの全て)

内容	最も大きいもの	他のあてはまるもの	全体の回答	最も大きいものの割合	他のあてはまるものの割合	全体の割合
会費収入	40	16	56	24.5%	9.8%	34.4%
会費以外の個人負担(会員の持ち出し)	10	11	21	6.1%	6.7%	12.9%
事業収入	15	6	21	9.2%	3.7%	12.9%
行政からの補助金・助成金	14	11	25	8.6%	6.7%	15.3%
民間からの助成金	2	5	7	1.2%	3.1%	4.3%
寄付金	4	10	14	2.5%	6.1%	8.6%
業務委託費(行政からの業務委託など)	4	3	7	2.5%	1.8%	4.3%
その他	6	4	10	3.7%	2.5%	6.1%
無回答	2	0	2	1.2%	0%	1.2%
全体	97	66	163	59.5%	40.5%	100.0%

※「無回答」は2団体あり、数値・割合の合計は「最も大きいもの」に含む。



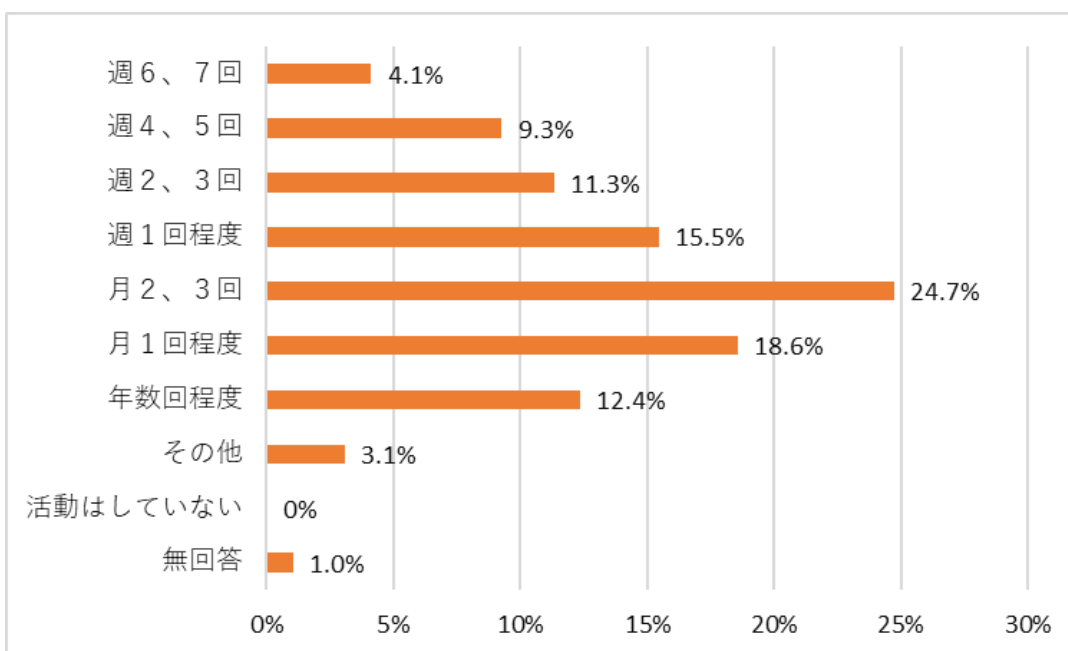
収入源は、「最も大きいもの」、「他のあてはまるもの」とともに「会費収入」が最も多く、全体で34.4%、次いで「行政からの補助金・助成金」が15.3%となった。

3. 団体の活動について

■活動の頻度を教えてください

※「活動」には、事務局事務、会議、イベント、その他準備を含みます

内容	回答	割合
週6、7回	4	4.1%
週4、5回	9	9.3%
週2、3回	11	11.3%
週1回程度	15	15.5%
月2、3回	24	24.7%
月1回程度	18	18.6%
年数回程度	12	12.4%
その他	3	3.1%
活動はしていない	0	0%
無回答	1	1.0%
全体	97	100.0%



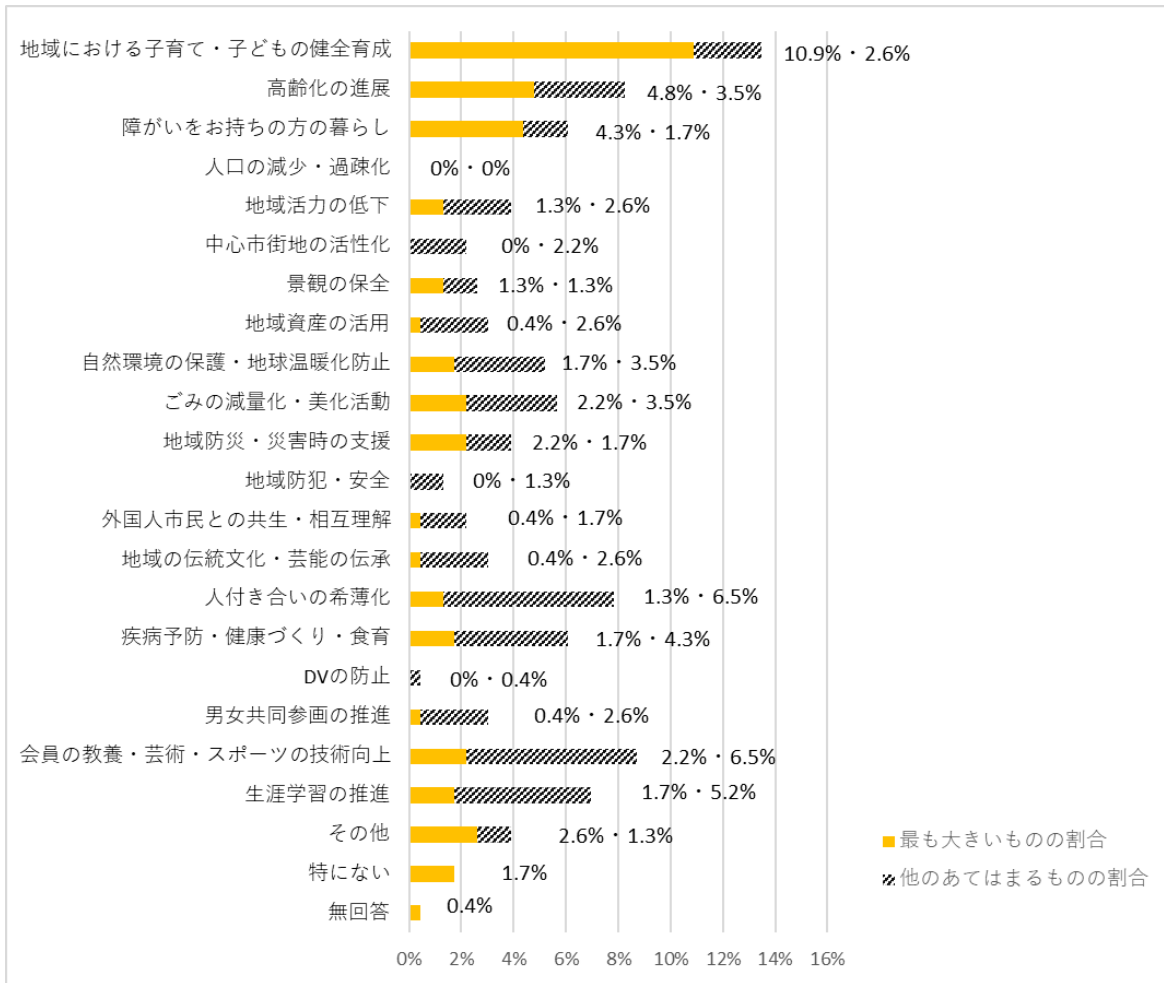
活動の頻度は、「月2、3回」が24.7%と最も多く、次いで「月1回程度」、「週1回程度」となった。

■ 現在取り組んでいる社会的な課題を教えてください

(最もあてはまるもの1つ、他にあてはまるもの全て)

内容	最も大きいもの	他のあてはまるもの	全体の回答	最も大きいものの割合	他のあてはまるものの割合	全体の割合
地域における子育て・子どもの健全育成	25	6	31	10.9%	2.6%	13.5%
高齢化の進展	11	8	19	4.8%	3.5%	8.3%
障がいをお持ちの方の暮らし	10	4	14	4.3%	1.7%	6.1%
人口の減少・過疎化	0	0	0	0%	0%	0%
地域活力の低下	3	6	9	1.3%	2.6%	3.9%
中心市街地の活性化	0	5	5	0%	2.2%	2.2%
景観の保全	3	3	6	1.3%	1.3%	2.6%
地域資産の活用	1	6	7	0.4%	2.6%	3.0%
自然環境の保護・地球温暖化防止	4	8	12	1.7%	3.5%	5.2%
ごみの減量化・美化活動	5	8	13	2.2%	3.5%	5.7%
地域防災・災害時の支援	5	4	9	2.2%	1.7%	3.9%
地域防犯・安全	0	3	3	0%	1.3%	1.3%
外国人市民との共生・相互理解	1	4	5	0.4%	1.7%	2.2%
地域の伝統文化・芸能の伝承	1	6	7	0.4%	2.6%	3.0%
人付き合いの希薄化	3	15	18	1.3%	6.5%	7.8%
疾病予防・健康づくり・食育	4	10	14	1.7%	4.3%	6.1%
DVの防止	0	1	1	0%	0.4%	0.4%
男女共同参画の推進	1	6	7	0.4%	2.6%	3.0%
会員の教養・芸術・スポーツの技術向上	5	15	20	2.2%	6.5%	8.7%
生涯学習の推進	4	12	16	1.7%	5.2%	7.0%
その他	6	3	9	2.6%	1.3%	3.9%
特になし	4	0	4	1.7%	0%	1.7%
無回答	1	0	1	0.4%	0%	0.4%
全体	97	133	230	42.2%	57.8%	100.0%

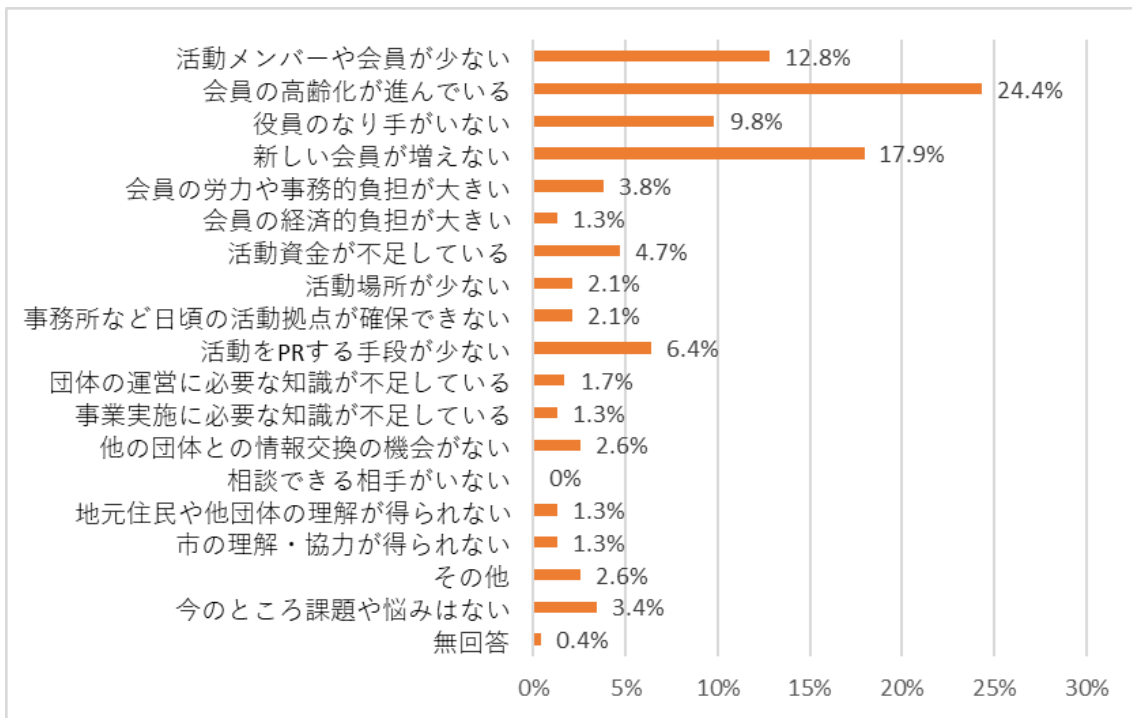
※「無回答」は1団体あり、数値・割合の合計は「最も大きいもの」に含む。



取り組んでいる社会的課題は、「地域における子育て・子どもの健全育成」が最も多く、全体で13.5%、次いで「会員の教養・芸術・スポーツ技術向上」が全体で8.7%となった。

■活動の中で感じている問題点や課題は何ですか(あてはまるもの3つ以内)

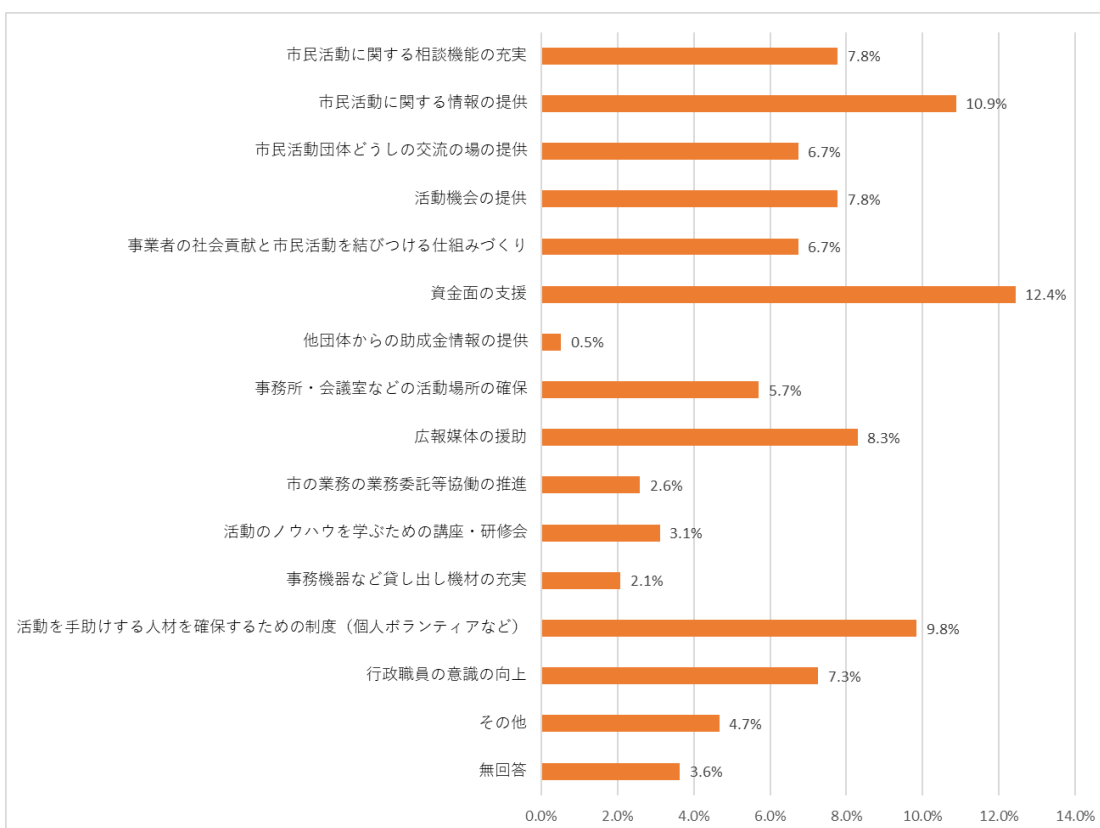
内容	回答	割合
活動メンバーや会員が少ない	30	12.8%
会員の高齢化が進んでいる	57	24.4%
役員のなり手がいない	23	9.8%
新しい会員が増えない	42	17.9%
会員の労力や事務的負担が大きい	9	3.8%
会員の経済的負担が大きい	3	1.3%
活動資金が不足している	11	4.7%
活動場所が少ない	5	2.1%
事務所など日頃の活動拠点が確保できない	5	2.1%
活動をPRする手段が少ない	15	6.4%
団体の運営に必要な知識が不足している	4	1.7%
事業実施に必要な知識が不足している	3	1.3%
他の団体との情報交換の機会がない	6	2.6%
相談できる相手がない	0	0%
地元住民や他団体の理解が得られない	3	1.3%
市の理解・協力が得られない	3	1.3%
その他	6	2.6%
今のところ課題や悩みはない	8	3.4%
無回答	1	0.4%
全体	234	100.0%



課題や問題点は、「会員の高齢化が進んでいる」が 24.4%と最も多く、次いで「新しい会員が増えない」、「活動メンバーや会員が少ない」となり、多くの団体で「会員について」悩んでいることが分かった。

■市はどのような支援に重点を置くべきだと思いますか
(あてはまるもの3つ以内)

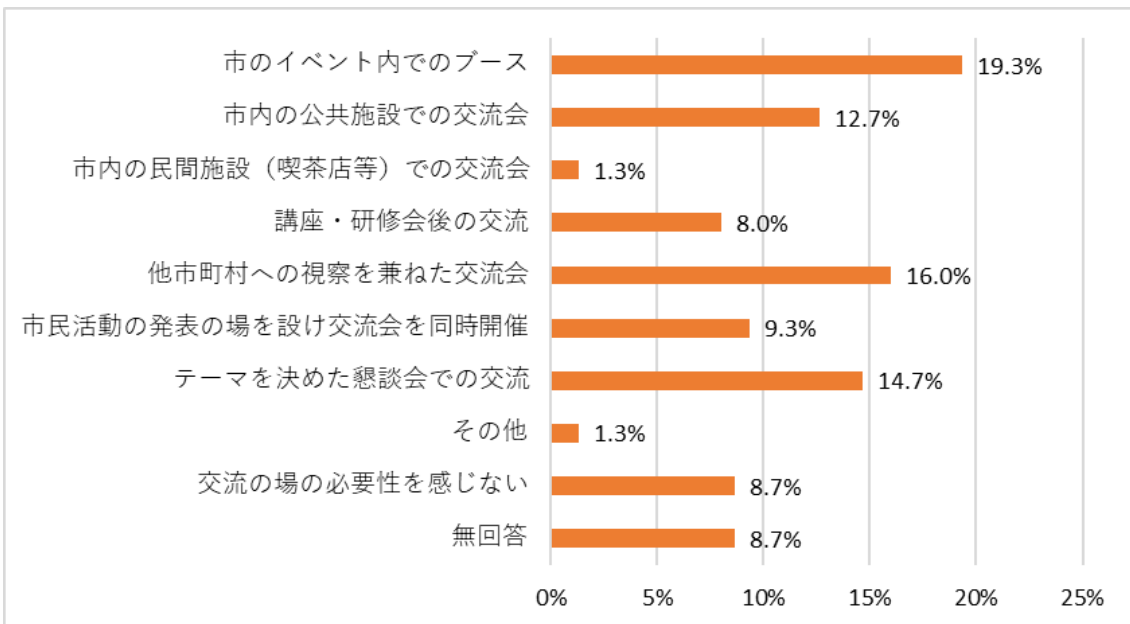
内容	回答	割合
市民活動に関する相談機能の充実	15	7.8%
市民活動に関する情報の提供	21	10.9%
市民活動団体どうしの交流の場の提供	13	6.7%
活動機会の提供	15	7.8%
事業者の社会貢献と市民活動を結びつける仕組みづくり	13	6.7%
資金面の支援	24	12.4%
他団体からの助成金情報の提供	1	0.5%
事務所・会議室などの活動場所の確保	11	5.7%
広報媒体の援助	16	8.3%
市の業務の業務委託等協働の推進	5	2.6%
活動のノウハウを学ぶための講座・研修会	6	3.1%
事務機器など貸し出し機材の充実	4	2.1%
活動を手助けする人材を確保するための制度（個人ボランティアなど）	19	9.8%
行政職員の意識の向上	14	7.3%
その他	9	4.7%
無回答	7	3.6%
全体	193	100.0%



市からの支援については、団体により市に求める支援は様々であった。

■団体間の交流の場はどのようなものであれば参加したいと思いますか
(あてはまるもの3つ以内)

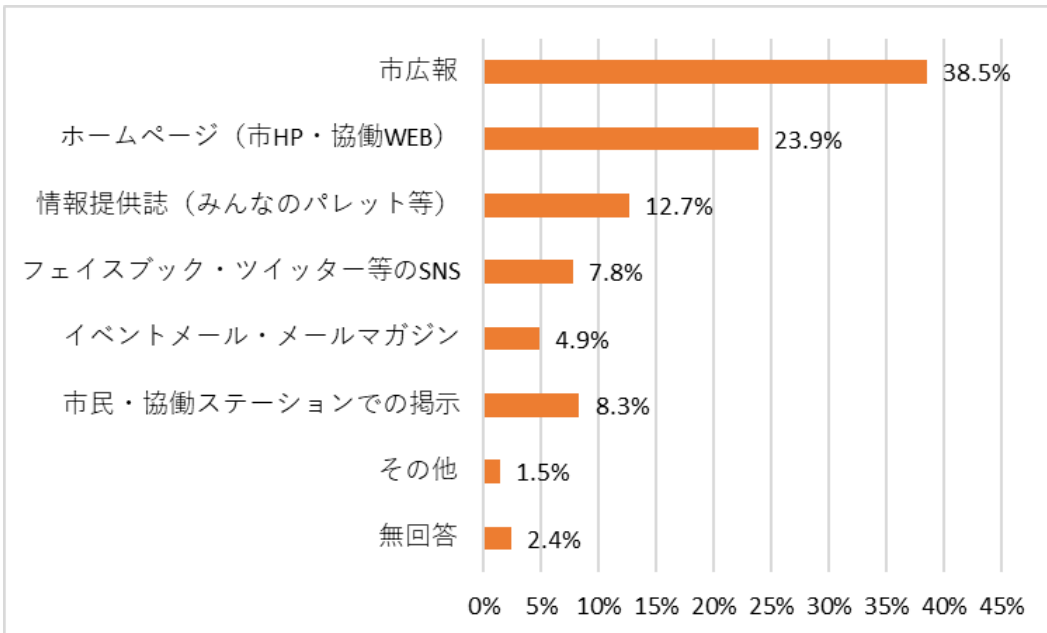
内容	回答	割合
市のイベント内でのブース	29	19.3%
市内の公共施設での交流会	19	12.7%
市内の民間施設（喫茶店等）での交流会	2	1.3%
講座・研修会後の交流	12	8.0%
他市町村への視察を兼ねた交流会	24	16.0%
市民活動の発表の場を設け交流会を同時開催	14	9.3%
テーマを決めた懇談会での交流	22	14.7%
その他	2	1.3%
交流の場の必要性を感じない	13	8.7%
無回答	13	8.7%
全体	150	100.0%



「市のイベント内でのブース」が19.3%と最も多く、次いで「他市町村への視察を兼ねた交流会」、「テーマを決めた懇談会での交流」となった。

■情報提供はどのような方法がいいと思いますか(あてはまるもの3つ以内)

内容	回答	割合
市広報	79	38.5%
ホームページ（市HP・協働WEB）	49	23.9%
情報提供誌（みんなのパレット等）	26	12.7%
フェイスブック・ツイッター等のSNS	16	7.8%
イベントメール・メールマガジン	10	4.9%
市民・協働ステーションでの掲示	17	8.3%
その他	3	1.5%
無回答	5	2.4%
全体	205	100.0%

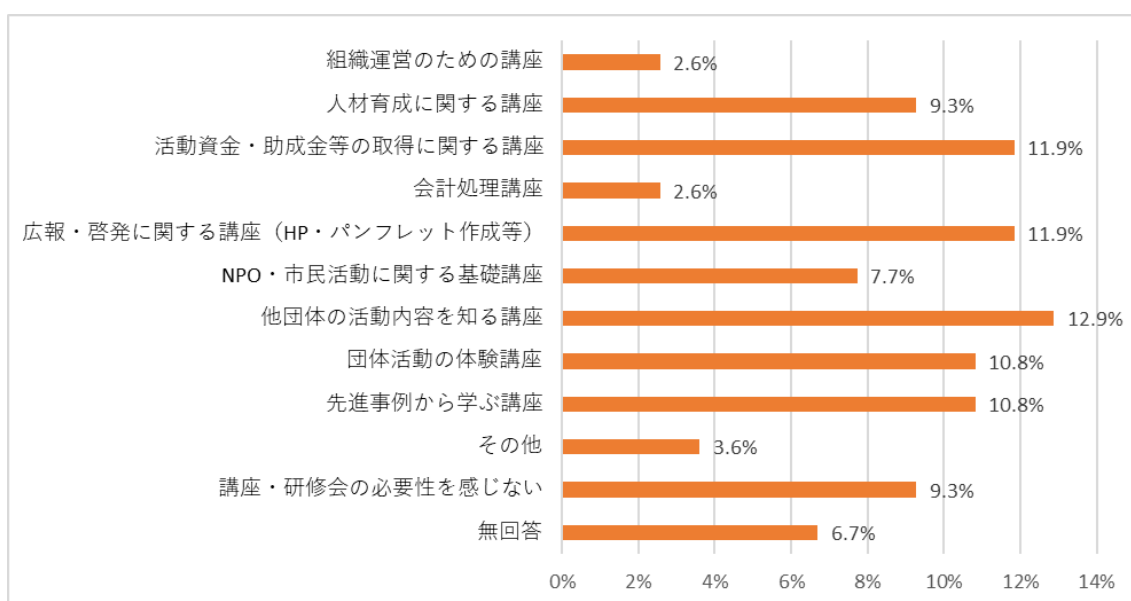


情報提供の方法は、「市広報」が38.5%と最も多く、次いで「ホームページ（市HP・協働WEB）」、「情報提供誌（みんなのパレット等）」となった。

■講座・研修会はどのようなものであれば参加したいですか

(あてはまるもの3つ以内)

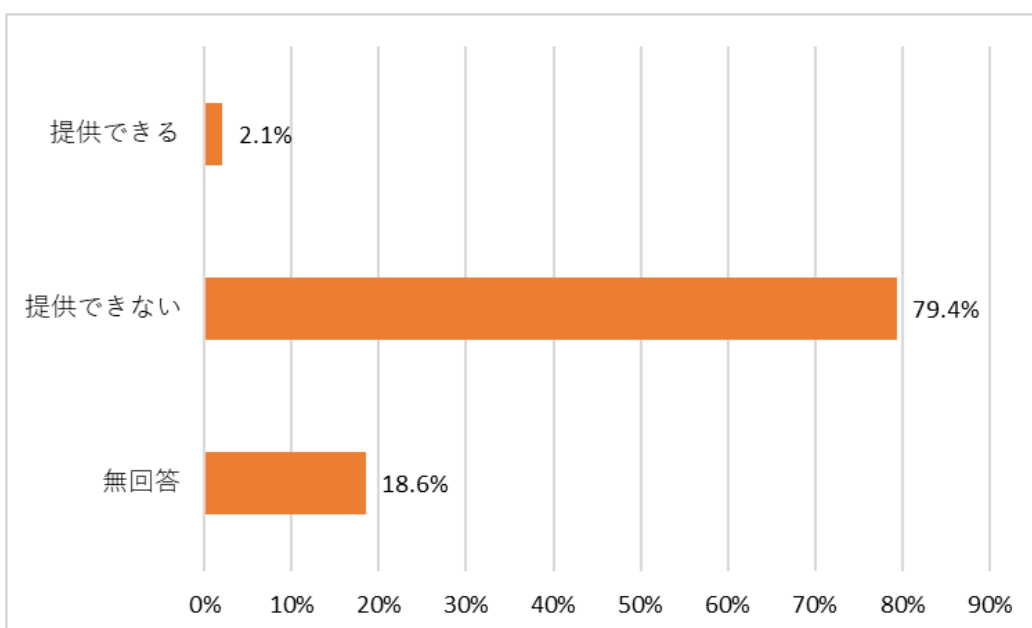
内容	回答	割合
組織運営のための講座	5	2.6%
人材育成に関する講座	18	9.3%
活動資金・助成金等の取得に関する講座	23	11.9%
会計処理講座	5	2.6%
広報・啓発に関する講座（HP・パンフレット作成等）	23	11.9%
NPO・市民活動に関する基礎講座	15	7.7%
他団体の活動内容を知る講座	25	12.9%
団体活動の体験講座	21	10.8%
先進事例から学ぶ講座	21	10.8%
その他	7	3.6%
講座・研修会の必要性を感じない	18	9.3%
無回答	13	6.7%
全体	194	100.0%



参加したい講座・研修会は、団体により様々であった。

■現在、市民・協働ステーションには、印刷機、裁断機、紙折り機が設置してありますが、団体内で使用している事務機器等を市民・協働ステーション等に設置し、ステーションを利用する他団体とシェアする仕組み(有料・無料は問わない)があれば提供してもいいですか。

内容	回答	割合
提供できる	2	2.1%
提供できない	77	79.4%
無回答	18	18.6%
全体	97	100.0%

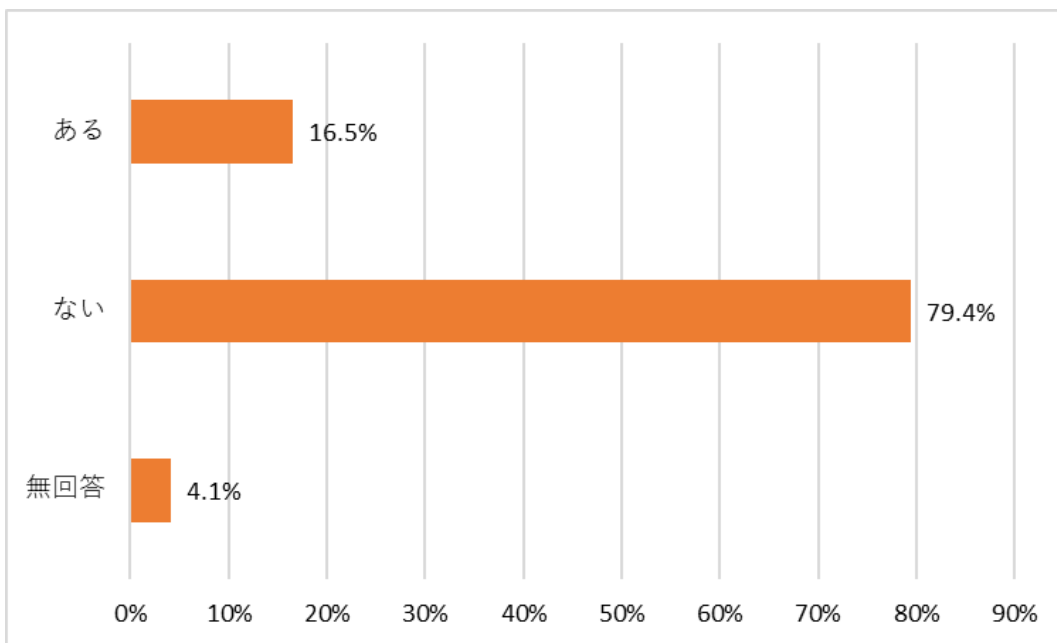


団体内で使用している事務機器等を「提供できる」団体は 2.1%、「提供できない」が 79.4%となった。

4. 江南市地域まちづくり補助金について

■江南市地域まちづくり補助金を申請したことがありますか

内容	回答	割合
ある	16	16.5%
ない	77	79.4%
無回答	4	4.1%
全体	97	100.0%

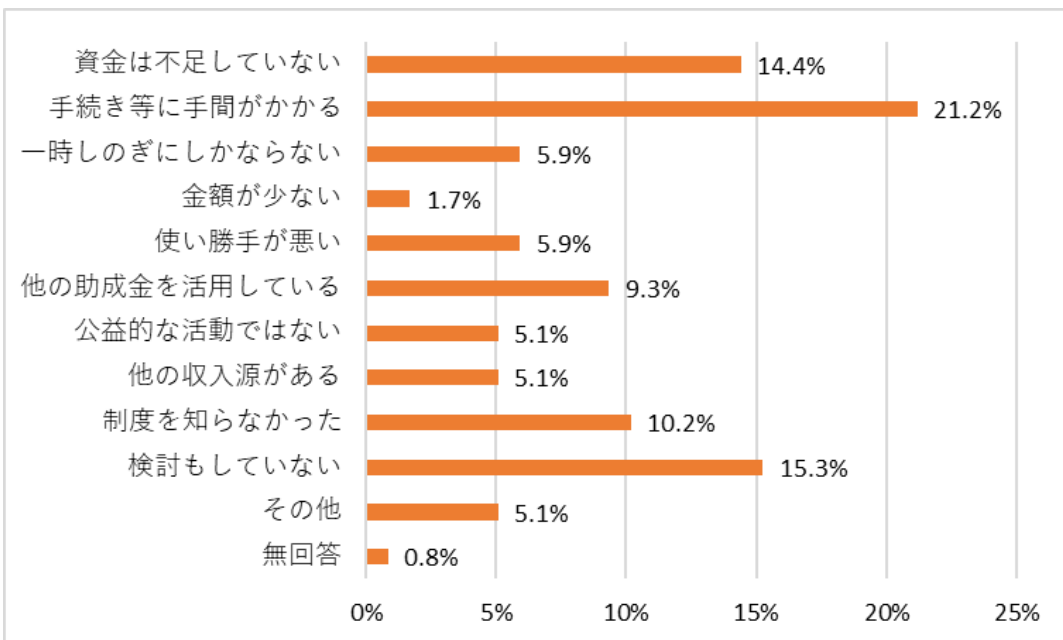


江南市地域まちづくり補助金を申請したことが「ある」団体は16.5%、「ない」団体は79.4%となった。

■江南市地域まちづくり補助金を申請したことが「ない」と回答した方へお聞き
します

まちづくり補助金を申請しない理由は何ですか(あてはまるもの全て)

内容	回答	割合
資金は不足していない	17	14.4%
手続き等に手間がかかる	25	21.2%
一時しのぎにしかない	7	5.9%
金額が少ない	2	1.7%
使い勝手が悪い	7	5.9%
他の助成金を活用している	11	9.3%
公益的な活動ではない	6	5.1%
他の収入源がある	6	5.1%
制度を知らなかった	12	10.2%
検討もしていない	18	15.3%
その他	6	5.1%
無回答	1	0.8%
全体	118	100.0%

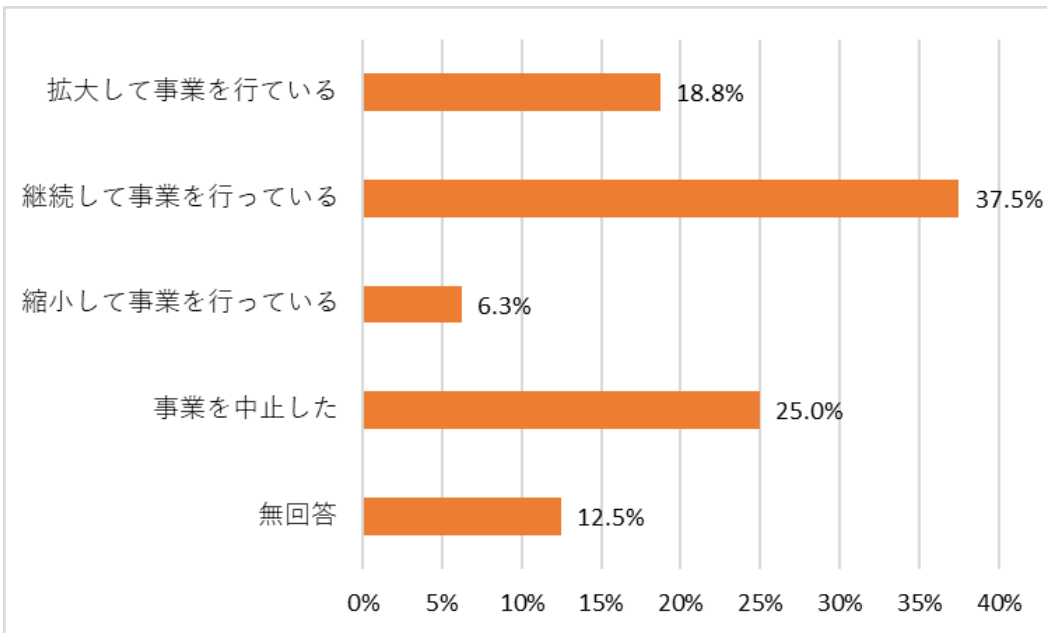


江南市まちづくり補助金へ申請したことがない理由は「手続き等に手間がかかる」が21.2%と最も多く、次いで「検討もしていない」、「資金は不足していない」となった。

■江南市地域まちづくり補助金を申請したことが「ある」と回答した方へお聞き
します

まちづくり補助金を活用した事業はどのような展開がありましたか

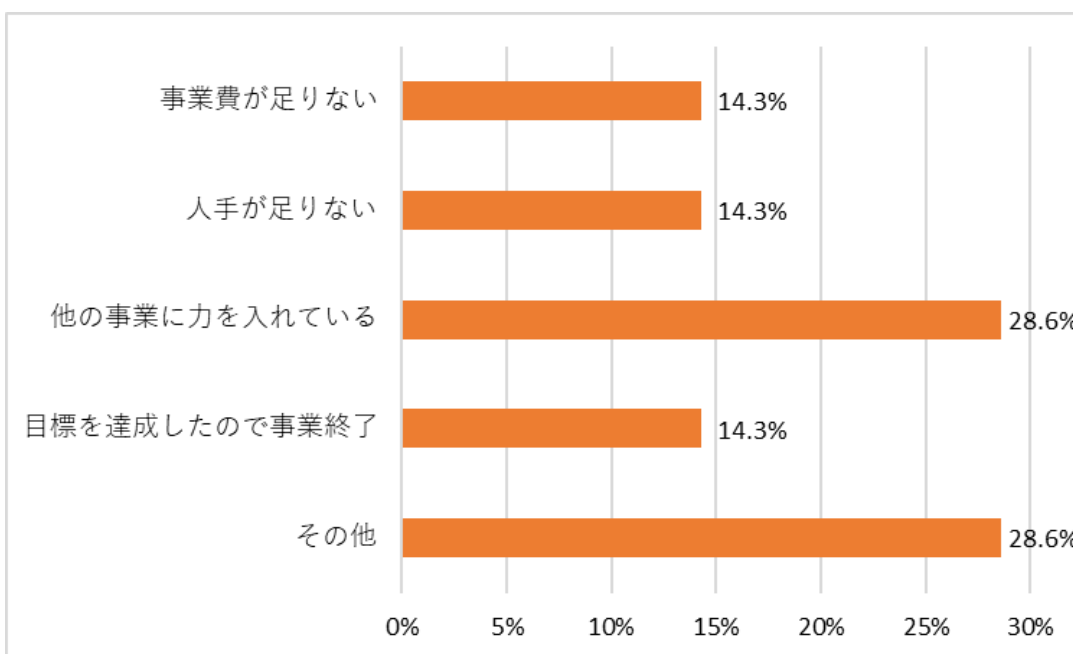
内容	回答	割合
拡大して事業を行っている	3	18.8%
継続して事業を行っている	6	37.5%
縮小して事業を行っている	1	6.3%
事業を中止した	4	25.0%
無回答	2	12.5%
全体	16	100.0%



江南市まちづくり補助金へ申請したことがある事業について、「拡大して事業を行っている」、「継続して事業を行っている」、「縮小して事業を行っている」の合計が62.6%、「事業を中止した」が25.0%となり、半数以上が補助期間終了後も事業を進められていることがうかがえる。

■江南市地域まちづくり補助金を活用した事業で「縮小して事業を行っている」「事業を中止した」と回答した方へお聞きします
事業が縮小または中止となった理由は何ですか

内容	回答	割合
事業費が足りない	1	14.3%
人手が足りない	1	14.3%
他の事業に力を入れている	2	28.6%
目標を達成したので事業終了	1	14.3%
その他	2	28.6%
全体	7	100.0%



※複数回答があったため、前質問の「縮小して事業を行っている」、「事業を中止した」と回答があった数と誤差があります。

「縮小して事業を行っている」または「事業を中止した」理由は、「他の事業に力を入れている」が2団体、同率の「その他」は、「準備が間に合わない」、「物品の借用ができなくなった」と回答があった。

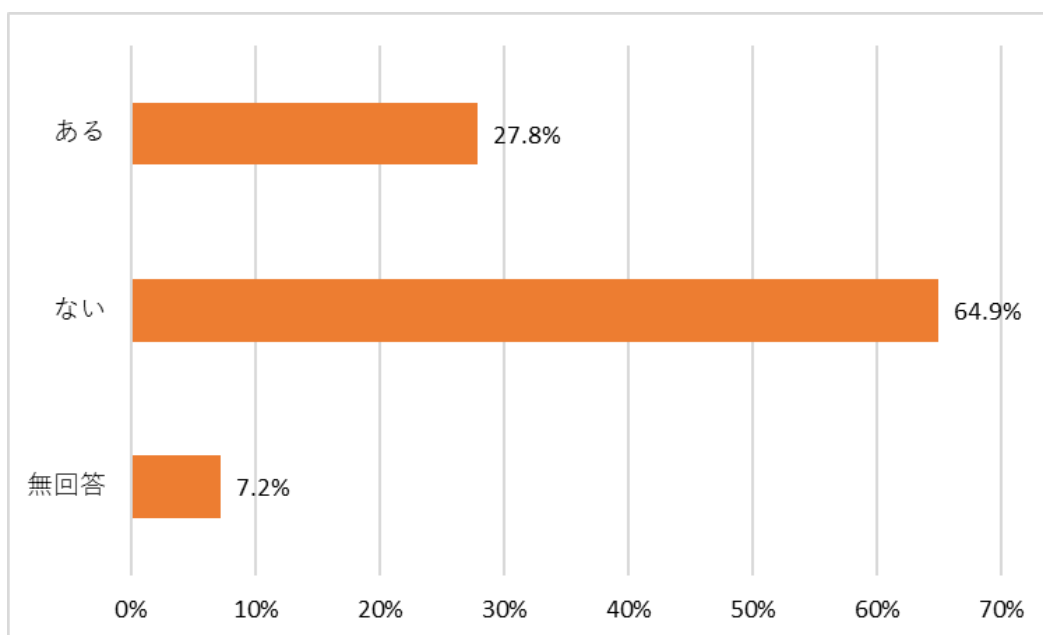
■江南市地域まちづくり補助金を活用し、縮小または中止した理由が「事業費が足りない」と回答した方へお聞きします
どのような補助金があれば活用したいと思いますか(自由記述)

回答なし

5. 行政・他団体との協働について

■ これまでに市と協働による事業を行ったことはありますか

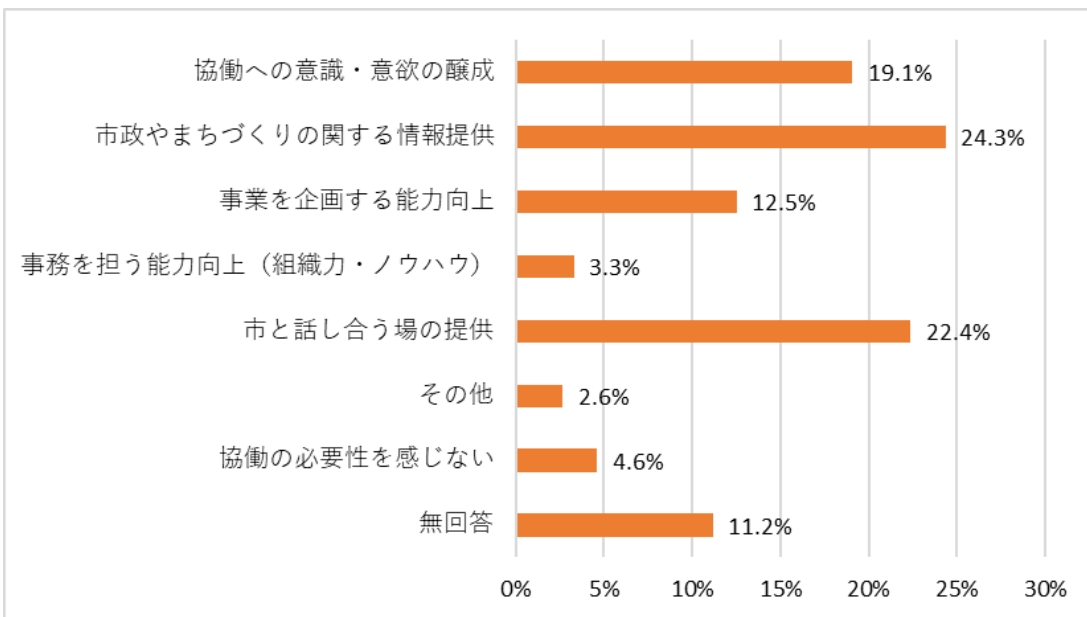
内容	回答	割合
ある	27	27.8%
ない	63	64.9%
無回答	7	7.2%
全体	97	100.0%



市と協働して事業を行ったことが「ある」団体は27.8%、「ない」団体は64.9%となった。事業内容は、「市のイベント・行事に依頼を受けて参加した」が多くみられた。

■市との協働を進めるうえで必要だと思うことは何ですか
 (あてはまるもの3つ以内)

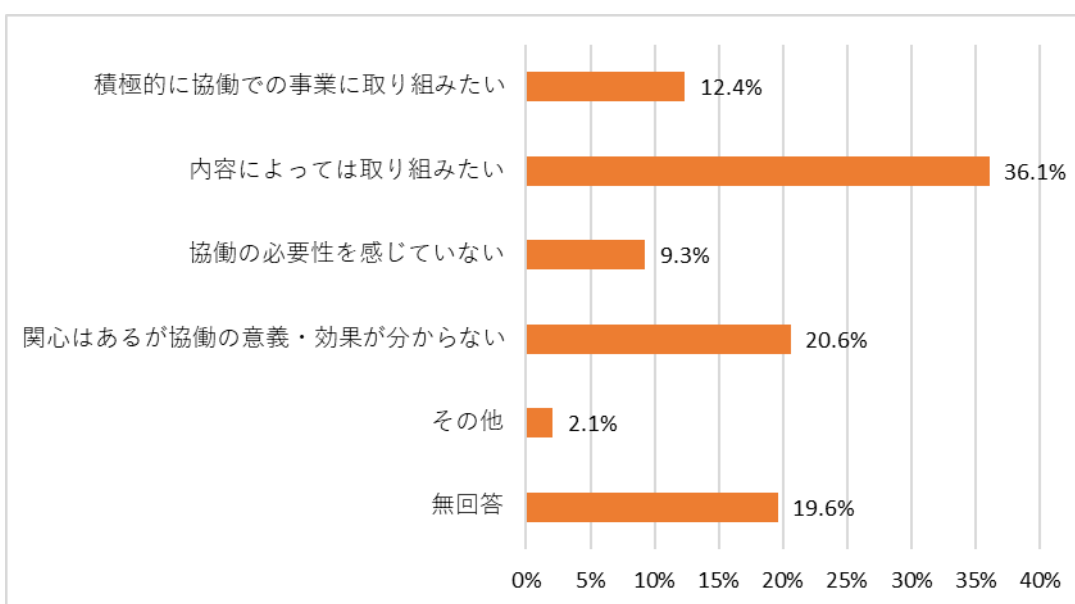
内容	回答	割合
協働への意識・意欲の醸成	29	19.1%
市政やまちづくりに関する情報提供	37	24.3%
事業を企画する能力向上	19	12.5%
事務を担う能力向上（組織力・ノウハウ）	5	3.3%
市と話し合う場の提供	34	22.4%
その他	4	2.6%
協働の必要性を感じない	7	4.6%
無回答	17	11.2%
全体	152	100.0%



「市政やまちづくりに関する情報提供」が最も多く 24.3%、次いで「市と話し合う場の提供」が 22.4%となり、市のビジョンや情報を求めていることがうかがえる。

■市との協働についてどのように考えますか

内容	回答	割合
積極的に協働での事業に取り組みたい	12	12.4%
内容によっては取り組みたい	35	36.1%
協働の必要性を感じていない	9	9.3%
関心はあるが協働の意義・効果が分からない	20	20.6%
その他	2	2.1%
無回答	19	19.6%
全体	97	100.0%



市との協働について、「内容によっては取り組みたい」が36.1%と最も多く、次いで「関心があるが協働の意義・効果が分からない」が20.6%となった。「取り組みたい」と回答した団体は48.5%と約半数となり、市との協働に意欲があるとうかがえる。

■市との協働について「取り組みたい」と回答した方へお聞きします
取り組みたい事業は具体的にどのようなものですか(自由記述)

《環境関係》

- ・自然保護、保全活動、子ども達への環境学習

《福祉関係》

- ・福祉ボランティアの学習

《高齢者関係》

- ・健康余命の向上。高齢者の居場所づくり、仲間作り、健康づくりへの貢献。経済的な質の向上に向けた勉強会の手伝いなどがあれば取り組みたい。
- ・合唱を演奏できる場があればぜひ取り組みたい。例) 高齢者施設等の訪問演奏
- ・結婚 50 年お祝いの会など市が主催する行事にコンサートをする。

《防災関係》

- ・交通安全啓発を市民に伝える活動を大型スーパー等で特に事故が多発している高齢者の方などを対象にキャンペーンを行う。
- ・人とふれあいながら地域間での交流を図り、災害時等人を思いやり、助けあえる人間作りができる事業（防災運動会など）

《子育て関係》

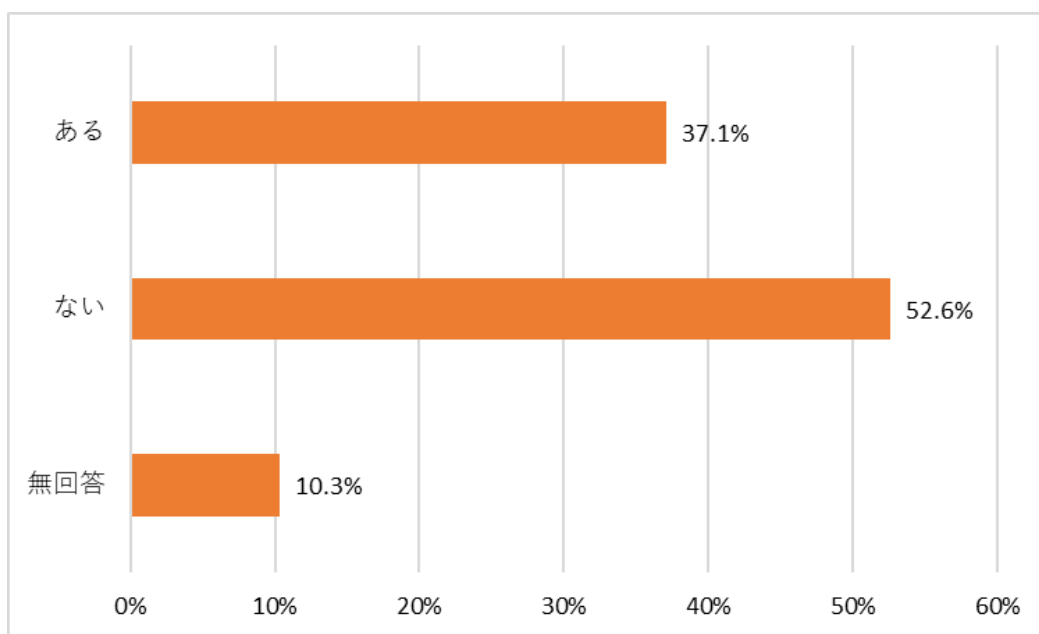
- ・未就園のお子さんを持つお母さん、妊娠中のお母さんがほっと心が軽くなるような時間を持っていただけるようなお話・ワークショップ。
- ・小・中・高の音楽行事に参加し、若い人に歌う楽しさを伝えたい。江南市音楽祭ができるといい。江南市少年少女合唱団ができるといい。
- ・就園前のお子様対象のリトミックサークルを行っている。そのような活動を活かせるものを取り組みたい。
- ・子どもの図書館離れが言われているので、本の楽しさをモット子供たちに知ってほしい。感性を育て、国語力アップ、算数、数学の文章問題への苦手意識をなくすメリットがある。

《その他》

- ・地域で家づくり及び住宅トラブルなどに対する相談等
- ・町内会、老人会などの小規模団体に対する情報機器の利活用講座
- ・音楽を通じて様々な地域の方とふれあいを深められるような事業
- ・道徳に関する講話など

■今後活動する上で協働したい相手はありますか

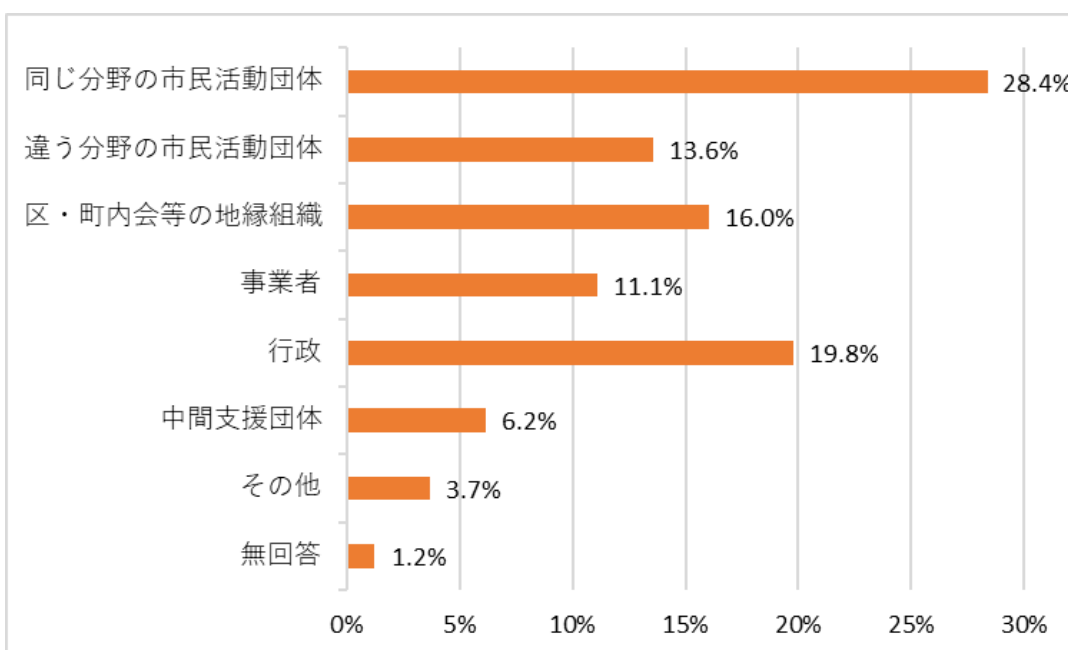
内容	回答	割合
ある	36	37.1%
ない	51	52.6%
無回答	10	10.3%
全体	97	100.0%



今後活動する上で協働したい相手が「ある」団体は37.1%、「ない」団体は52.6%となった。

■ 今後活動する上で協働したい相手が「ある」と回答した方へお聞きします
 今後活動をする上でどの相手と協働したいですか(あてはまるもの全て)
 ※市や他団体との協働について貴団体の具体的な事例、問題点、提案がありましたら教えてください

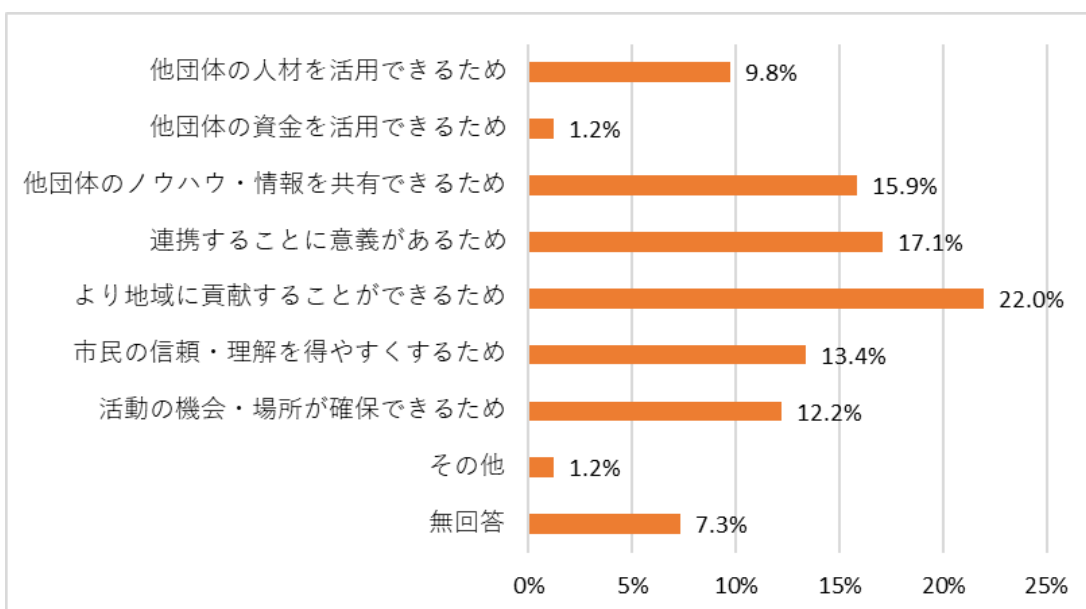
内容	回答	割合
同じ分野の市民活動団体	23	28.4%
違う分野の市民活動団体	11	13.6%
区・町内会等の地縁組織	13	16.0%
事業者	9	11.1%
行政	16	19.8%
中間支援団体	5	6.2%
その他	3	3.7%
無回答	1	1.2%
全体	81	100.0%



「同じ分野の市民活動団体」が 28.4%と最も多く、次いで「行政」、「区・町内会等の地縁団体」となった。

■他団体等と協働したい理由を教えてください

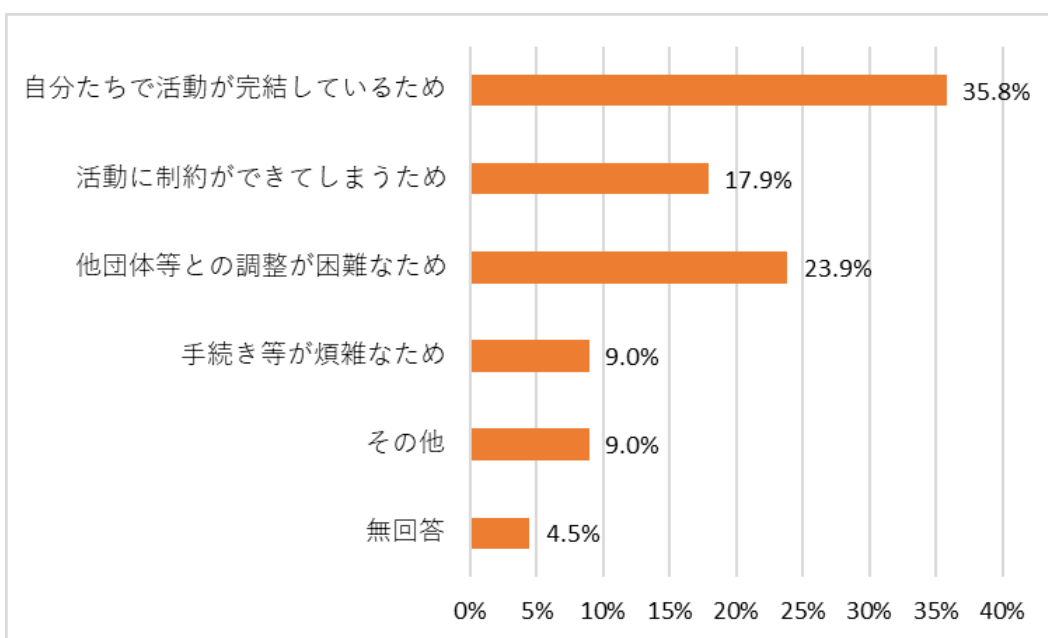
内容	回答	割合
他団体の人材を活用できるため	8	9.8%
他団体の資金を活用できるため	1	1.2%
他団体のノウハウ・情報を共有できるため	13	15.9%
連携することに意義があるため	14	17.1%
より地域に貢献することができるため	18	22.0%
市民の信頼・理解を得やすくするため	11	13.4%
活動の機会・場所が確保できるため	10	12.2%
その他	1	1.2%
無回答	6	7.3%
全体	82	100.0%



「より地域に貢献することができる」が22%と最も多く、次いで「連携することに意義があるため」、「他団体のノウハウ・情報を共有するため」となった。

■今後活動する上で協働したい相手が「ない」と回答した方へお聞きします
 他の団体等と協働したくない理由を教えてください(あてはまるもの全て)

内容	回答	割合
自分たちで活動が完結しているため	24	35.8%
活動に制約ができてしまうため	12	17.9%
他団体等との調整が困難なため	16	23.9%
手続き等が煩雑なため	6	9.0%
その他	6	9.0%
無回答	3	4.5%
全体	67	100.0%



「自分たちで活動が完結しているため」が 35.8%と最も多く、次いで「他団体等との調整が困難なため」、「活動に制約ができてしまうため」となった。